

# 文化財ニュース いわき

第 59 号

平成 10 年 7 月 27 日

財団法人いわき市教育文化事業団  
福島県いわき市常磐藤原町手這50-1  
(いわき市考古資料館内)

TEL 0246 (43) 0391

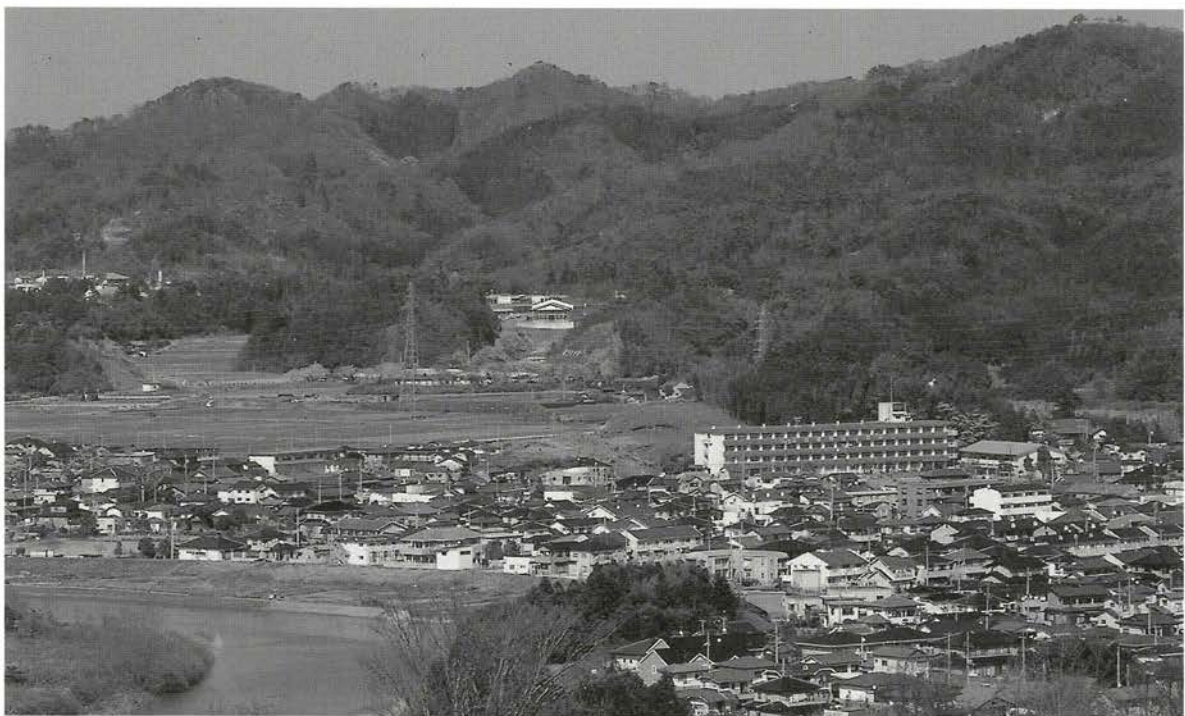
## ひら くら もろ に い せき 平 窪 諸 荷 遺 跡

— 東日本最大の弥生時代共同墓地の発見 —

いわき市平下平窪にある平窪諸荷遺跡の発掘調査は、今年の4月から実施しています。遺跡は平第四小学校の裏にある小高い山にあります。

この遺跡からは、旧石器時代・縄文時代・弥生時代・平安時代末から鎌倉時代・江戸時代におよぶたくさんの遺構や土器・石器などの遺物が発見されました。

なかでも、東日本で最多の発見例となった弥生時代の墓跡は、山の尾根や学校側の南斜面に群をなして所狭しと並んでいました。墓は長楕円形の土坑墓(200基以上)を主体とし、他に壺や甕を利用した土器棺(5基)が点在しています。さらに、周囲を四角い溝で区画して、溝を掘ったときの土を数10cmほど盛って真ん中に遺体を埋葬する方形周溝墓も2基見つっています。この他、150を越す弥生時代の柱穴があり、数棟の建物が立っていたようです。



好間中核工業団地から見た調査前の平窪諸荷遺跡(中央の丘陵)

1998年4月10日撮影

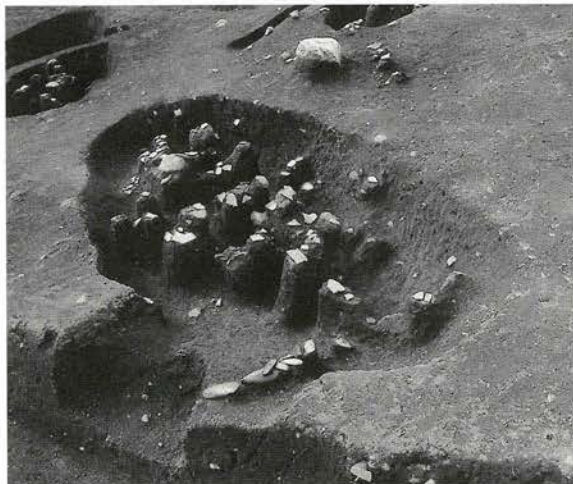
## 土 坑 墓 (どこうぼ)

長さ1.5~2.5mの長い楕円形の穴に直接遺体を埋葬した墓。県内では、ならはまちてんじんみさきこうえん檜葉町天神岬公園にあるてんじんばらいせき天神原遺跡(47基)やあいづわかまつし いちのせき会津若松市の一ノ堰B遺跡(112基)が有名です。これらは平坦なところに造られていますが、平窪諸荷遺跡は小高い山のやせ尾根や急な南斜面に集中的に営まれるという特徴をもっています。副葬品としてはふくそうひん管玉などの玉類を有するものは少なく、ふとがたはまくりば へんぺいかたば ちゅうじょうかたば せいせきふ太型蛤刃・扁平片刃・柱状片刃磨製石斧といった工具を納めるという特異な慣習が多く見られます。第147号土坑墓は最も多く8本の石斧が入っていました。

土坑墓の時期は、中から出土する土器から弥生時代中期前半~後半と考えられます。



斜面に掘られた2000年前の墓を探す作業(平四小屋上から)



墓の遺物出土状況(141・147号土坑墓)



副葬された8本の石斧(147号土坑墓)

とじておきましよう。

## 土器棺墓 (どきかんぼ)

直径60～80cmのほぼ円形の穴に壺<sup>つぼ</sup>または  
甕<sup>かめ</sup>を斜めに納めた墓。茨城県北茨城市の足洗<sup>あしあらい</sup>  
遺跡<sup>いせき</sup>で見つかった土器棺墓には小児の下顎骨<sup>かがくこつ</sup>  
や肢骨<sup>しこつ</sup>が入っていました。諸荷遺跡の土器棺  
も子供たちの墓であろうと考えられます。  
埋納<sup>まいのう</sup>するときに土器の底の中央を打ち欠いて  
穴を開けています。天神原遺跡では33基の土  
器棺墓が見つっています。



後世に上部を削られた土器棺

## 方形周溝墓 (ほうけいしゅうこうぼ)

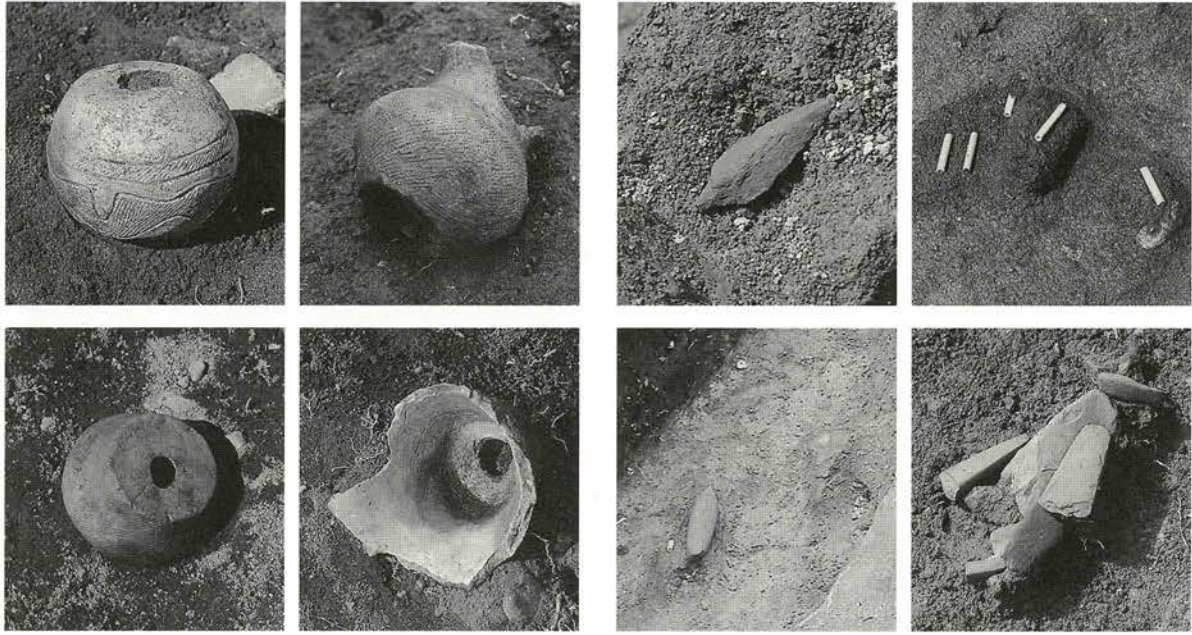
弥生時代に西日本に発生し、東日本へ伝わってきた墓。弥生時代の方形周溝墓は、東日本  
では神奈川・千葉・埼玉に特に多く見られ、北は群馬と長野まであります。山頂にあって周  
囲を方形の溝で区画し、盛り土によるマウンドをもっています。また、マウンドの中央には  
主体部<sup>しゅたいぶ</sup>といわれる埋葬施設<sup>まいそうしせつ</sup>もあり、これだけ良く構造が判明したのは県内でも初めてです。

1号方形周溝墓は、一辺約9m、溝幅約1mを測ります。周溝<sup>しゅうこう</sup>は完全に一周せずに四隅の一  
角が途切れています。墳丘中央には長さ2.1m、幅0.6mの遺体<sup>ふんきゅう</sup>を納めた主体部<sup>しゅたい</sup>が見つ  
つています。盛り土や溝の中からは弥生時代後期後半の土器が出土しています。



第2号方形周溝墓全景(東から)

弥生時代中期の遺物(約2,000年前)



埋葬に使われた土器(底に穴が開けられている)

土坑墓の副葬品

弥生時代後期の遺物(約1,800年前)



甕の口縁部

祭祀用と考えられる土器

お墓の移り変わり

縄文時代	弥生時代前期	弥生時代中期	弥生時代後期	古墳時代
約2300年前	約2000年前	約2000年前	約1700年前	
足を曲げて埋葬	足を延ばした状態で埋葬	土器棺墓(諸荷遺跡) 土坑墓(諸荷遺跡)	方形周溝墓(諸荷遺跡) 土器棺墓(諸荷遺跡)	横穴墓の盛行 群集墳が作られる 前方後円墳の出現 四隅突出墓(出雲地方)
	再葬墓(関東・東北) 木棺墓の出現(西日本) 支石墓の出現(九州)	方形周溝墓の出現(近畿) 天神原遺跡(栃木町)		

とておきまじょう。